

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念を朝礼で唱和しているが、職員一人ひとりが理念を理解して、ケアの実践へ結び付けることが出来ていない。	①職員一人ひとりが法人の理念を理解し、日々意識を持って業務に取り組む。 ②ケアに対しての事案が理念に沿ったものになっているか確認し、話し合う。	①理念、行動指針はグループホームの目標であることを再確認する。日頃の教育指導の中で管理者、ユニットリーダーがそれを指導する。 ②6ヶ月に1回介護職員会議で理念・指針についての再確認する。 ③ケアに対しての事案が理念に沿ったものになっているか、管理者が日常随時、指導する。	6ヶ月
2	4	運営推進会議は、報告事項が中心で、やや形式的なものとなっている。	開催回数と出席者を増やし、地域の一員として双方向で意見を出し合えるような雰囲気作りを行う。	①地域の民生委員や自治会へ訪問し、運営推進会議への参加を依頼する。 ②事前アンケートを実施し、予め議題を設定しておくことにより、意見交換しやすい雰囲気をつくる。	6ヶ月
3	6	玄関・階段には、安全確保のためか、常時施錠をしている。階段には、門扉が取り付けられていて圧迫感がある。	圧迫感を無くし、開放的な空間作りを目指す。	①入所者が外に出たい時、いつでも自由に出れるよう職員が付き添い対応をする。 ②階段門扉は季節ごとにあつた装飾をして、圧迫感が出ないようにする。	3ヶ月
4	52	廊下の壁に掛けている額縁の位置が高く、入所者の視界に入りにくい。	ユニット内にある額縁などのインテリアは、入所者が観て楽しめるようにする。	①額縁は、安全を配慮した上で現状より、10cm下げて入所者の視界に入るようにする。 ②その他のインテリアは、配置する前に関係職員で検討し、入所者にとって観て楽しめる場所や位置であるかを考えて配置する。	3ヶ月
5	26	介護計画書のモニタリングを毎月行っているが、毎月ほぼ同じ内容であり、計画への反映が見えにくい。	毎月のモニタリングが介護計画書に反映され、職員一人ひとりが計画書を把握出来るようにする。	①評価し易いよう出来るだけ数値化した評価表の様式に変更する。 ②再アセスメントを行う時にモニタリング結果を十分に盛り込んでアセスメントする。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。